

災害時避難行動円滑化事業について

内 容

(1) 専門機関による避難訓練のプログラム開発

避難ステップに応じて4種類の訓練プログラムを開発

【プログラム】訓練・研修用教材としてDVD・冊子を作成予定



基礎演習

(2) 避難に関する基礎知識や声かけ人材養成に関する研修

府内12カ所で座学形式の研修を各市町村と調整して開催

(3) 訓練に必要な資機材等購入経費を消防団(分団等)へ交付

避難訓練プログラムを実施する消防団へ、訓練実施経費※を支援

※上限100万円とし、4社以上の地元事業所の参加が条件

実働訓練

訓練プログラム

【ステップ1】

情報入手

【ステップ2】

情報活用

【ステップ3】

行動開始

①情報伝達訓練

【訓練内容】

- 防災情報の収集・共有・活用訓練
- 実際の情報伝達手段を用いた伝達訓練

②声掛け人材によるプッシュ型避難誘導訓練

【訓練内容】

- 声掛け体制の拡充
- 防災情報を活用した避難の声掛け訓練

③タイムライン活用避難訓練

【訓練内容】

- 想定に応じたタイムラインの実践
- 振り返り、タイムラインのブラッシュアップ(見直し)

④避難行動要支援者実働避難訓練

【訓練内容】

- 要支援者の把握・共有、支援方法の検討
- 要支援者マップの作成
- 要支援者の避難誘導訓練

スケジュール



日程	研修企画	避難訓練プログラム
5月	委託事業者等との調整	
5月末～8月	実施市町村調整 準備(講師、会場の確保)	訓練プログラム開発 実施地域募集 応募・交付金申請書の提出
	計画策定・研修実施	交付金の決定通知送付
9月～1月	研修実施(地域毎に順次)	訓練実施(地域毎に順次)
2月上旬	訓練を実施した消防団は、実績報告書を提出	